

なんともくらし、福祉 最優先の県政を



投票箱のフタがしまるまで、行動参加者を広げに広げ、最大規模の棄権防止活動で勝利をかちとろう！



4日夕、阪急三宮北
吉井英勝衆院議員の支援を受けて



4日午前、垂水商店街で
数十人のモモタロウ

「憲法どおりの兵庫にむけて！」 田中耕太郎サポーターズ ニュース

候補者発表から二カ月半、ついに投票日を迎えました。選挙中に寄せられた兵庫県政に対する県民の怒り、願い、要求をあまさず汲み尽くせば、間違いなく私たちが多数派です。情勢は大きく動いています。文字通り、投票箱のフタが閉まるまで、行動参加者を広げ、最大規模の棄権防止活動をやりぬきましょう。

三日・三宮「職場で話し合っつて、みんなに投票するよう言います」

三日夕、三宮の街頭演説会で、大雨の中、銀行の陰からジツと演説を聴いている若い女性がいました。手にはしっかりとマニフェストビラが。

女性サポーターが声をかけると、「福祉職場で働いています、本当に大変で何とかしてほしいと思っています。選挙公報を見て、私は田中耕太郎さんに投票しようと思いました。職場のみんなもそう言っていました。本当に公約通りしてくれるのか、最後にご本人を見てから決めようと思っただけにきました。どんな方ですか？」と話されました。サポーターが「田中さんとは一緒に仕事をしています、曲がったことが嫌いで、正しいと思っただけに何もにもひるまずやり通す芯の強い人です」と紹介をしました。

女性は、「話を聞いていても感じます。職場全員で話しあつて田中さんに投票するように言います。ビラを貰えますか？」と言つて六枚のビラを持って帰りました。

田中候補19歳時、
下宿先の小学生（当時）からカンパ

田中候補が十九歳の時、下宿していた垂水・下畑のKさんの息子さん（当時小学生で現在サポーターの同僚）からカンパをいただきました。（西区のサポーターからFAX）

二〇〇九年七月五日 第二十六号
憲法県政の会
(部内資料)
TEL078 36211805
FAX078 36211814

このニュースは「会」の活動内容を掲載して、加盟団体、地域の会と会員みなさんにお届けするものです。このニュースを受け取った団体、地域の会は構成員に届けてください。メール登録されている加盟団体、地域の会にはPDFでも送信しています。

「関東大震災はチャンス」発言は絶対に許さない！ 県民の願い、怒り、要求、すべてを田中耕太郎へ



行く先々で切実な願い、熱い声援を受け

労働者が



高齢者が



医師が



中小業者が



もちろん、女性も、青年も、自分たちの選挙として、たたかってきた

県下全域で「変えよう！兵庫県政」と訴えてきた

淡路でも

但馬でも

家島・坊勢でも

尼崎でも

明石でも

その訴えは、
今日一日の奮闘で
有権者の心に必ず届く

演説会を力に、最後の最後まで広げよう・3日演説会から【赤穂の会】

開始直前に雨が降り出したにもかかわらず40人が参加。吉田弁護士「私も憲法が大好きで、姫路港への軍艦の入港や、生野での戦闘機の超低空飛行を認める井戸知事は許せない」、杉本県議「『福祉に使う金は余計なもの』、『関東大震災はチャンス』という、これほど冷たい知事はいない。田中さんは被災者救援に全力を尽くした」の熱い訴えに参加者は最後まで奮闘を誓いあった。

【西脇・多可の会】地域の5団体から各分野の県政への問題点、田中候補への期待が語られました。ついで、兵庫福祉労の大西さん、共産党の瀬戸さんが現県政の問題点を告発。予定の時間を過ぎましたが、残された時間奮闘しようと決意し閉会しました。

【宝塚の会】田中候補が「どこの知事も言えない『消費税反対』の知事誕生にあなたの力を」と熱く訴えました。



3日宝塚逆瀬川・ソリオホール